

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
小学校	橋本市立城山小学校	山田 卓司
学校所在地		
〒 648 - 0054 橋本市城山台2丁目10-2 tel 0736 (37) 2055 fax 0736 (37) 2062		
担当者名		担当教科
上野 大輝		研究主任・総合
<p>〔学校の概要〕</p> <p>やさしく・かしこく・たくましい子の育成を教育目標とし、地域とともにある学校づくりを目指している。</p>		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
学年6年生72名	40名 職員 4名	高野山 長藪城跡 紀伊風土記の丘
実践研究テーマ		
やさしく かしこく たくましい子の育成		
実践教科等名	単元名	
総合的な学習の時間	考えよう！未来の城山	
〔キーワード〕 世界遺産学習 ふるさと教育 環境教育 情報活用能力		
<p>〔単元目標〕</p> <p>(1) 橋本市の歴史・文化・自然を調べ、伝え合う活動を通して、橋本市の素晴らしさやよさを感じようとする。 (感じる力)</p> <p>(2) 見学や体験を通して、世界遺産を調べることにより、日本の良さや世界の国々の理解を深める。 (世界遺産学習)</p> <p>(3) 既存の学習経験を生かし、インタビューや資料の活用など調べる方法を考え出して、情報を集めたり、必要な情報を取捨選択したりして、目的に応じた資料の収集整理をしようとする。 (実現する力)</p>		
〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕		
全体 30時間 （「 調べてみよう！高野山と和歌山の歴史！ 」 18時間 ）		
〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕		
<p>(1) 和歌山県世界遺産センター・・・世界遺産入門 次世代育成事業</p> <p>(2) 地域ボランティア・・・長藪城見学の支援</p>		

実践校に関する事項

〔単元指導計画概要〕

	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	1. 体験しよう！紀伊風土記の丘	・古墳や遺産の探索、勾玉づくり等の体験を通して、自分たちの住む和歌山県の昔の暮らしについて知る。	(感じる力) ワークシート (実現する力) ワークシート
2	2. 調べてみよう！高野山と和歌山の歴史 3. 行ってみよう！高野山 4. まとめよう！高野山	・身近な文化財であり、世界遺産にも登録された高野山について、書籍やインターネットを使って調べる。 ・実際に高野山に行き、世界遺産マスターの話等を聞きながら、壇上伽藍や奥の院を見学する。	(感じる力) 観察 ワークシート (創造する力) 観察 ワークシート
3	5. 発表しよう！高野山	・島根県にある横田小学校と、ビデオ通話を使った交流会を行う。学習した内容をまとめたスライドに沿って説明する。	(実現する力) スライド作り (関わる力) ワークシート
4	6. 見学しよう！長藪城 7. 聞いて調べよう！長藪城	・自分たちの身近な地域にある長藪城について話を聞き、地域のボランティアの人たちと一緒に散策に行く。	(実現する力) 観察 自己評価 (関わる力) 観察 自己評価
5	8. 考えよう！未来の城山	・これまで学習してきたことをもとに、これからの城山台について考え、自分たちのできることについて考える。	(創造する力) ワークシート 自己評価

〔単元学習の成果と課題〕

成果 ふるさと学習の実践を通して、子どもたちに主体的に問題を解決しようとする態度が身についてきた。それは、子どもたちが、高野山散策や長藪城登山等の体験、地域の人たちとのかかわりを通して、自分のよさや地域のよさにも気づき、よりよい生活を志向することができてきたということである。

課題 見学等があったが、体験的な活動が少なく、年間を通して一つのものを学習してきたという感覚が薄かった。体験的な活動を通して、自分たちの住む城山台、橋本市のよさについて考えることができるようにしたい。

〔世界遺産学習の効果〕

昨年までは、ボランティアの方たちと一緒に町石道を登っていた。しかし、壇上伽藍や奥の院等の高野山の主要な建築物の見学が少なく、深い学習をすることが難しかった。

今年度、次世代育成事業を活用することで、そういった問題点が改善され、世界遺産学習として非常に深い学習を行うことができた。また、世界遺産学習を通して、世界遺産への興味関心をもつことができ、世界遺産学習の素地を高めることができた。

〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕

世界遺産マスターの方たちの説明が専門的になりすぎたグループがあり、「世界遺産って難しい」という気持ちを持ってしまった子もいた。もう少し簡単な内容でもいいので、興味をもつきっかけになるような説明をしてもらいたいと感じた。

様式 2

平成30年度 「次世代育成事業」における学習記録

[概要報告書 学習記録・活動写真]



僕は、この学習をする前も、高野山に行ったことは何回もありました。でも、こんなにたくさんの秘密があるなんてことは知らなかったのも、とってもびっくりしました。

世界遺産マスターの人たちの話がとても分かりやすく、聞いていて面白いものばかりでした。特に、三鈷の松の話を知ってから、三鈷の松を探すのが楽しくて、ついつい時間を忘れて探してしまいました。

次に行くときは、家族に今日学んだことを教えてあげたいです。

僕は今まで高野山に行ったことがありませんでした。なので、この日がとても楽しみでした。びっくりしたのは壇上伽藍の大きさです。遠くから見たら普通のサイズだと思っていた正面のとびらが、巨人の家みたいに大きかったです。壇上伽藍の近くには、壇上伽藍の色を塗る前のような建物もありました。

近くには、名前を忘れてしまったけど、鎌倉時代から燃えずに残っている建物もあって、歴史を感じました。

今度は家族と一緒に行ってみたいです。今日は本当に楽しかったです。



高野山が世界遺産に登録されたことは知っていたけど、それは本当にすごいことなんだと分かりました。

特に印象に残ったのは奥の院です。雨が降っていたので傘をさしながらだったけど、なんだかとっても神聖な気がしました。また、奥の院の道を歩いて行った奥には橋があって、ここから先はあの世になっているという話を聞いて少し怖くなりました。弘法大師がまだ生きていると言われていたのも、なんだかおもしろいです。

話を聞いたからかもしれないけど、神聖な場所の様な気がしました。

わたしの班の世界遺産マスターのおじさんは、とっても物知りで、分かりやすかったです。おもしろかったのは、奥の院の少し横にそれとところには、処刑場があったという話を聞いて、聞いていたのは自分たちの班だけだったので、とても得した気分になりました。何度か奥の院にも行ったことがあったけど、そんな秘密があるなんて知りませんでした。

今回の学習で、世界遺産を守っていく大切さについて学ぶことができました。これから先も、いろんな形で世界遺産である高野山と関わっていきたいです。

